

名寄市は、ふるさと会や姉妹都市をはじめとする各地域とさまざまな分野で交流活動を展開し、人と人の交流を通じた活気あるまちづくりを進めるとともに、国際交流活動の支援や国際感覚を持つ人材の育成を図り、国際化に対応したまちづくり、人づくりを進めます。

さらに、移住促進による地域経済の活性化を図るため、民間との連携強化による積極的な情報提供に努めます。

交流活動の推進

Advancing Exchange

姉妹都市

鶴岡市藤島(山形県)



山形県北部の庄内平野のほぼ中央に位置する旧藤島町の旧東栄村添川地区が、明治33(1900)年に同志34人で最初に開拓入植した故太田豊治一行の出身地になります。名寄の母村ともいえる藤島町とは、平成8(1996)年8月に姉妹都市の提携を結びました。平成17(2005)年10月1日に鶴岡市、藤島町、羽黒町、櫛引町、朝日村、温海町の六市町村が合併し鶴岡市となっています。日本一のふじの里を目指す藤島エリアは、庄内有数の米どころで、「はえぬき」「どまんなか」誕生の地でもあります。伝統芸能である勇壮活発な獅子踊りが伝承され、全国屈指の獅子郷でもあります。

友好交流都市

杉並区(東京都)



東京都杉並区は、東京23区の西端に位置し、自然が豊富な閑静な住宅都市として発展してきたまちです。旧風連町と杉並区の交流のきっかけは、戦時中の昭和20(1945)年5月、学徒動員で風連町の農家で1カ月ほど援農生活を送った経験を持つ杉並区を選挙区とした元代議士の故粕谷茂氏のご縁となり、平成元(1989)年7月13日に交流協定を締結。そして新名寄市となった平成18(2006)年には当初の精神を引き継ぎ、新たに協定を締結しました。

「ふうれん白樺まつり」や「東京高円寺阿波おどり大会」などの各種イベントへの相互参加、小中学生の子ども交流事業、特産品の斡旋・販売などの経済交流も含めて幅広い交流を行っています。

国際姉妹都市

カワーサレイクス市リンゼイ(カナダ・オンタリオ州)



リンゼイは、五大湖の一つオンタリオ湖のすぐ北にあるカワーサレイクス市の中心の街で北緯44度4分、西経79度と名寄とほぼ同じ緯度に位置します。

国際交流に対する気運が高まるなか、キリスト教宣教師として活発な活動を行っていた故フロイド・Gハウレット氏の紹介で、昭和44(1969)年8月1日に旧リンゼイ市と姉妹都市の提携を結びました。クリスマスカードの交換などの文化交流をはじめ、市民、学生の相互訪問、交換留学を行っています。2001年にリンゼイを含む16町村が合併し、人口約74,500人のカワーサレイクス市となりました。

国際友好都市

ドーリンスク市(ロシア・サハリン州)



ドーリンスク地区は、サハリンの南東に位置しており、13の居住地で構成されています。

行政の中心は、ドーリンスク市(旧日本名:落合)であり、地区の総人口は25,369人、市の人口は、11,517人です。

昭和63(1988)年、第4回サハリン平和の船に名寄日ソ親善協会会長他が参加したことがきっかけとなり、交流がはじまりました。平成3(1991)年3月25日にドーリンスク市と友好都市提携を結び、少年少女の文化・スポーツ交流、医療訪問団や民間職業研修生の受け入れ、語学研修交流など多くの市民が親交を深めています。